

立命館 言語文化研究

23巻1号

目次

ヴァナキュラー文化研究会：語りえない人々の語りに関する超域的研究

「語られたこと」と「語られなかったこと」

—序文に代えて—…………… ウェルズ恵子 (1)

アメリカの「民俗」と「口承性」

—バラッドにおける差異の構築とナショナリズム—…………… 小長谷英代 (3)

笑いと回復のための語り

—ゾラ・ニール・ハーストンの『驟馬と人間』を読む—…………… ウェルズ恵子 (15)

あるアボリジナル・コミュニティの文化運動

—クリル・クリル儀礼とワーマン派絵画の誕生—…………… 佐藤 渉 (31)

日系アメリカ人強制収容とアンセル・アダムズの写真記録…………… 荒 このみ (47)

戦後日本のメディアイベントにおける消費文化の「語り」

—東京オリンピックと日本万博を通して—…………… 関口英里 (91)

戦争被害と感情の記憶をめぐる省察

—731部隊遺跡保護運動が語る記憶の傷痕—…………… 田中 寛 (103)

遊牧民女性の技と記憶

—西北アナトリア、ヤージュ・ベディルの人びととの交流から—…………… 江川ひかり (127)

共有された半球を書く

—アジア＝オーストラリア小説の近年の動向—

…………… アリソン・ブロイノウスキー／佐藤 渉 (訳) (141)

国際日本文化研究理論研究会：日本文学研究理論の構築—フランス—

はじめに…………… 中川成美 (149)

フランス語で書く日本現代文学史

—その条件と可能性—…………… 坂井セシル (151)

質疑応答…………… 西 成彦 (司会)／西川長夫, 中川成美 (コメント) (161)

個別論文

Feedback Provision in L2 Writing Classes: The Use of Poster Presentations to Fill a Gap

…………… Matthew COOMBER (173)

認知言語学的アプローチによるスペイン語語彙学習・指導に関する新提案 (その2)

—「メタファー」の導入—…………… 福森雅史 (195)

研究ノート

会話テスト練習における2度質問の分析から見えるもの

—プロフィシェンシーのためのフィードバック内容を探る—…………… 清水昭子, 板井芳江 (219)

